

小学校に保育所訪問支援についてアンケート調査を行ったところ次のようなご意見をいただきました。このご意見を踏まえた対応を検討しています。ご教示くださるようお願いします。

- ①家庭との接点は、学校より療育施設の方が多いと思うので、学校と療育の連携がさらに頻繁に行われるといいと思います。幼少期から関わっていただいている方なので成長過程を知ることができてよかったです。家庭支援の働きかけなど、同じ方向をむいてできればいいと思いました。次回面談では、何か資料があると今後の支援に活かせると思います。
- ②授業中の様子をよく観察され、姿勢保持等について分かりやすく説明していただいた。
- ③子どもとの関わり方についてアドバイスをいただき教育活動に活かしたい。
- ④保護者（家庭）の状況について理解促進が図られた。引き続き把握に努めたい。
- ⑤支援場面における的確な助言をいただいたので、これからの支援に活かしたい。
- ⑥支援事業所の具体的な活動内容を知る機会がなかった。連携して取り組めるものもあったと思った。

1. 学校と療育施設の連携強化（①⑥）

定期的な情報共有の場を設ける（例：ケース会議、オンライン共有ツールの活用）

連携しやすい仕組みづくり（例：連絡ノートの活用、相談窓口の明確化）

療育施設の活動紹介機会の提供（例：学校向け説明会、共同研修の実施）

2. 保護者支援の方向性統一（①④）

保護者との共有資料作成（例：面談時に活用できる成長記録や支援計画書）

家庭と学校・療育施設が一体となる支援体制の構築（例：合同相談会、家庭支援策の共通化）

3. 学校現場での具体的支援の充実（②③⑤）

観察結果を共有しやすいツールの導入（例：写真・動画を活用したフィードバック）

実践的アドバイスの提供（例：姿勢保持や関わり方の具体例を示す研修）

教員向け支援マニュアルの作成（例：よくある課題と対応例をまとめる）

保育園、幼稚園に保育所訪問支援についてアンケート調査を行ったところ次のようなご意見をいただきました。このご意見を踏まえた対応を検討しています。ご教示くださるようお願いします。

- ①子どもとの関わり方についてアドバイスをいただき教育活動に活かしたい。
- ②2日に分けて保育の振り返りをしていただきありがたかった。
- ③初期の意見交換が中心で支援員の力量まで把握するまでにいたりませんでした。
- ④かんしゃくが起きた際の対応についてアドバイスしていただき安心した。
- ⑤何かあった際は適時・適切に対応し行動まで起こしていただき心強かった。
- ⑥園や担任にいつも寄り添っていただき感謝しています。

1. 教育・保育活動への助言の充実 (①②④)

具体的な関わり方のアドバイスの提供 (例: 事例をもとに実践的な指導法を伝える研修)

継続的な振り返りの機会の確保 (例: 定期的な支援員との振り返り会の設定)

問題行動対応のノウハウ共有 (例: 「かんしゃく対応マニュアル」の作成、具体的事例を交えた研修の実施)

2. 支援員の力量や専門性の理解促進 (③)

初回訪問時の自己紹介と専門領域の説明 (支援員の役割や得意分野を明示)

具体的な支援方針の共有 (初期の意見交換だけでなく、具体的な支援の方向性を園側と確認)

3. 信頼関係の継続・強化 (⑤⑥)

適時・適切な対応を維持 (緊急時の支援体制の明確化、迅速な対応の継続)

園・担任との密な連携を強化 (定期的なフォローアップや意見交換の機会を増やす)

感謝の声を活かし、さらなる支援の質向上 (良好な関係を維持しながら、新たなニーズを探る)